

4 くらしくらべ

4 くらしくらべ

むかしと今のくらしをくらべてみよう。どんなことに気づいたかな？

むかしの生活のようす

今から70年ほど前の、くらしのようすを見てみよう。そのころ、ふつうの家庭では、今のように電気製品があまりなく、家事は今にくらべ手間のかかる仕事だった。ごはんはまきを燃やし、かまどでたいていた。衣類は手で一まいずつ、あらっていたんだ。

昭和20年代の最前と自らのようす

今の生活のようす

家の中には、電気やガスなどのエネルギーを使って動く道具がたくさんあるね。スイッチひとつで、ごはんをたいたり、衣類をあらったり、家事の手間を省いてくれている。また、暑いとき、寒いときもエアコンなどで、過ごしやすい環境をつくることができるようになったんだ。

現代のキッチン

交通網の発達

日本の交通網が発達し始めたのは、戦後の高度経済成長期（1950年代～1970年代）のことである。1964年（昭和39年）の東京オリンピックに合わせ、おもな交通網が整備されていった。東京都と愛知県をむすぶ東名高速道路の建設や東海新幹線の開通（7ページ）により、人や物の移動がふえた。1960年代後半からは、マイカーを持つ家庭が目立ち、自動車の台数もぐんとふえた。今では日本列島を縦断する高速道路や新幹線、飛行機などの交通機関が大きく発展し、人や物の移動がとても便利になっている。

東名高速道路が開通（1969年＝昭和44年）

経済成長をへて

電気やガスがふつうの家庭にいきたるようになりくらしは大きく変わったんだよ。

かまど と まき

うちわ

火ばち

ふろがま と まき

お手玉

竹馬

遊ぶ

おふろに入る

ふろわし器

ストーブ

エアコン

コンピュータゲーム

お米をたく

すいはんき

衣服をあらう

洗たく機

洗たく板 と たらい

（冬）あたたまる（夏）すずむ

むかしにくらべてどんなところが便利になったのかな？

考えよう

もしも電気やガスが使えなかったらどんなくらしになるか考えてみよう。

学習のねらい

- 昔（昭和初期～戦後）のくらしと現代を比べ、エネルギーの使い方の違いに気づく。
- 昔のくらしと比べ、今のくらしが便利で快適であることに気づく。
- また、そのために多くのエネルギーが使われていることを考える。

指導上のポイント

- 今、私たちのくらしの中で当たり前のように使っているものやサービスも祖父母、あるいは父母の子供時代には無かったものも多い。
- 電気やガスなどのエネルギーを使えなかったころの家事は重労働だった。
- 電気やガスなどのエネルギーが私たちのくらしを便利で快適にしている。

関連する単元

- 3年 社会科 市の様子の移り変わり
- 4年 社会科 人々の健康や生活環境を支える事業
- 6年 理科 電気の利用

関連ページ

調べてみよう！ 身近なエネルギー（16～17ページ）

■電気の歴史

日本で初めて電灯（アーク灯）が灯されたのは1882年、東京・銀座である。その後、電灯は東京を中心に普及した。次いでエレベーターや電車など、電気は動力用として利用されていた。東京市内（当時）に電灯がほぼ普及したのは1912年のことである。日本全国に電気が普及したのは戦後である。戦後の1950年ころまで、一般家庭に普及していた電気器具は照明とラジオ、扇風機、アイロンくらいであった。電気製品が普及し始めたのは高度経済成長期に入ってからである。

■ガスの歴史

1872年、横浜で日本初のガス事業がはじまり、ガス灯が点灯される。当初、ガスは明かりとして利用され始めたが、ガス灯は電灯の登場により、姿を消していった。その代わり、ガスは熱源として利用されるようになった。1904年に日本初のガス器具であるガスかまどが発売されたが、当時はガスの供給地域が狭く、ガス機器が広く普及するようになったのは戦後になってからである。

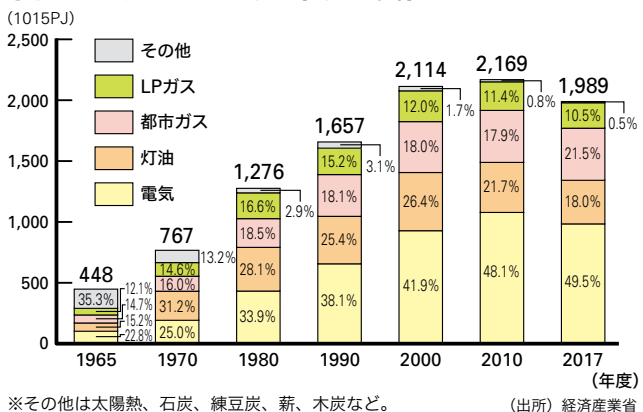
■約70年前の社会とくらし

調理はコンロではなく、かまどで炭や薪を燃やしていた。水道も無かったので井戸から汲んできた水を貯めておく大きな水瓶や手桶などを使用していた。冷蔵庫の代わりに氷で冷やしていた。

○炊事

- 昔：** かまどで料理をしていた。まきや炭で火をおこし、料理中は火を吹いて調節していた。
- 今：** スイッチひとつで火がつき、火力の調節も簡単にできるコンロとなった。

家庭におけるエネルギー利用の変化



○冷蔵庫

- 昔：** 昭和初期の冷蔵庫は中に氷を入れ、食品を冷やした。
- 今：** さまざまな機能がついた冷凍冷蔵庫が主流となっている。

○洗濯

- 昔：** たらいの中で洗濯物を洗濯板でこすり洗いし、水気も手でしぼる重労働だった。
- 今：** 洗たく・すすぎ・脱水・乾燥まで全部自動でできるようになった。

○冷暖房

- 昔：** 夏は風通しのよい場所で涼んだり、うちわなどで暑気を払った。冬は火ばちで炭を燃やし暖を取った。
- 今：** 扇風機やエアコン、ファンヒーター、床暖房などさまざまな冷暖房機器がある。

○風呂焚き

- 昔：** お風呂のある家庭は少なく、銭湯に通っていた。家にある風呂も、薪でお湯を沸かしていた。
- 今：** ガスや電気給湯器でお湯を沸かし、スイッチひとつでお湯が溜まる。

○遊び

- 昔：** 山や川で遊んだり、手作りのおもちゃで遊んだ。
- 今：** 公園で遊んだり、家の中でゲームをしたりする。

児童たちにとって、テレビ、洗濯機、冷蔵庫などの電気製品がない生活は現在のくらしから想像しづらいが、児童用7～8ページの1950年代の三種の神器（白黒テレビ・洗濯機・冷蔵庫）1960年代の新・三種の神器（3C＝カラーテレビ、クーラー、自動車）の登場した時期を確認させたい。また、地域のお年寄りや家族などへの聞き取りなどによる昔の生活との比較により実感させたい。

世帯当たり電力消費量の推移

